

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年に設立され、今年で22年目を迎えております。



熱心に聞く川異研メンバー



講師 中小企業診断士 小野川利昌氏

活動報告

○6月11日(木)定例会開催 当所会議室
参加者13名

「日本企業のイノベーション戦略」と題し、和光大学の経済経営学部経営メディア学科山崎秀雄氏が出前授業を行った。講義内容としては、GDPは戦後最悪のマイナス成長であるが、8月には大幅に改善されると予想される。成功している企業は、ISOを早期に取得しイノベーション経営トップとして、「決める」、「伝える(社内外)」、「巻き込む(社内外)」をしっかりと実践している等の話があった。

また、最後に山崎氏から企業の生の声が聞きたいということで、フジクス の竹之内豊社長から、従業員の士気を高めるには、会社がいかに多くメディアに取り上げられるかが重要。従業員と一緒にバンド(ウォータージェットメン)を組み社是を歌にしながら浸透させる努力をしている。また、最近では人事考課制度を見直し新しい評価制度を確立した等の事例報告があった。その後、懇親会場に席を移し、盛会のうちに終えた。

○6月17日(水)分科会開催 ミューザ川崎会議室
参加者13名

「事業承継系経験談」をテーマに、川異研メンバーであるたつみ工業 代表取締役会長の岩根弘明氏より、事業への思い入れとご子息への事業承継に関してご自身の実体験に基づいた貴重な講演が行われた。講演後には参加者より熱心な質疑応答があり、事業承継という経営課題に関して有意義な意見交換がなされた。

○7月1日(水)分科会開催 高津市民館会議室
参加者33名(和光大学学生含む)

「中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画承認申請制度」をテーマに、川異研メンバーであるMMEI(メイ)コンサルタントオフィス主宰 中小企業診断士 小野川利昌氏より制度の概要と事例に基づいた中小企業の新事業への取り組みについて貴重な講演が行われた。講演後には川異研会員はもとより和光大学学生からも熱心な質疑応答があり、経営革新という経営課題に関して有意義な意見交換が行われた。

その後、和光大学学生も交えて、懇親会を盛大に開催した。

川異研HP → <http://www.kawaiken.jp/>

加入のお問い合わせは → 事務局:多摩麻生支所 TEL 044-932-1100